

令和 2 年度

山形県社会教育 2020
(案)

山形県教育委員会

目次

I	令和2年度 社会教育の推進・生涯学習の振興	1
II	令和2年度 社会教育・生涯学習 施策体系	2
III	令和2年度 県社会教育関係事業 年間計画	3
IV	令和2年度 社会教育・生涯学習関係 事業計画	5
1	豊かな心と健やかな体を育成する	
(1)	教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進	
(2)	豊かな心の育成	
2	変化に対応し、社会で自立できる力を育成する	
(1)	グローバル化等に対する実践的な力の育成	
3	郷土に誇りを持ち、地域社会の担い手となる心を育成する	
(1)	郷土愛を育む教育の推進	
(2)	山形の宝の保存活用・継承	
4	活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める	
(1)	学校と家庭・地域との連携・協働の推進	
(2)	青少年の地域力の育成・地域活動の促進	
(3)	地域の教育力を高める生涯学習環境の充実	

I 令和2年度 社会教育の推進・生涯学習の振興（案）

第6次山形県教育振興計画

基本目標

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり

テーマ

つなぐ
～いのち、学び、地域～

基本方針

- 1 「いのち」を大切にし、生命をつなぐ教育を推進する
- 2 豊かな心と健やかな体を育成する
- 3 社会を生きぬく基盤となる確かな学力を育成する
- 4 変化に対応し、社会で自立できる力を育成する
- 5 特別なニーズに対応した教育を推進する
- 6 魅力にあふれ、安心・元気な学校づくりを推進する
- 7 郷土に誇りを持ち、地域社会の担い手となる心を育成する
- 8 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める
- 9 地域に活力を与える文化とスポーツを推進する

第5次山形県生涯学習振興計画

目標

一人ひとりの個性が奏であい
輝く山形の未来を拓く生涯学習
～自立、協働、創造～

生涯学習振興の重点

- 1 個人や地域の多様化するニーズを踏まえた
学習機会・学習内容の充実
- 2 地域づくり・絆づくりに係る活動の推進
- 3 持続可能な推進体制整備、人材育成機会の
提供等による市町村への支援

令和2年度の社会教育の推進・生涯学習の振興にあたっては、第6次山形県教育振興計画後期計画及び第5次山形県生涯学習振興計画に基づき施策を展開します。

また、「つなぐ～いのち、学び、地域～」のテーマに沿って社会教育の施策を推進していくとともに、「自立、協働、創造」の観点に沿って生涯学習の振興を図ります。

策定されて3年目となる第5次山形県生涯学習振興計画の普及と啓発に引き続き取り組み、目標である「一人ひとりの個性が奏であい、輝く山形の未来を拓く生涯学習」の実現に向け、生涯学習振興の中核となる社会教育の更なる充実に努めます。

【6 教振の基本方針における生涯学習の施策の柱】

1 豊かな心と健やかな体を育成する【基本方針Ⅱ】

- ・保護者の学習機会の創出により、親の不安や悩みを軽減し、より温かい親子関係の構築につながる家庭教育を推進します。
- ・豊かな感性や人間味あふれる心、思いやりの心を育むために、学校・家庭・地域が連携した読書活動を推進します。

2 変化に対応し、社会で自立できる実践的な力の育成【基本方針Ⅳ】

- ・不登校等、社会参加に困難を有する子ども・若者やその家族について、関係部局やNPO団体、フリースクール等の様々な機関や団体と連携・協働して、将来の社会的自立を目指した支援のあり方について検討し、支援を行います。

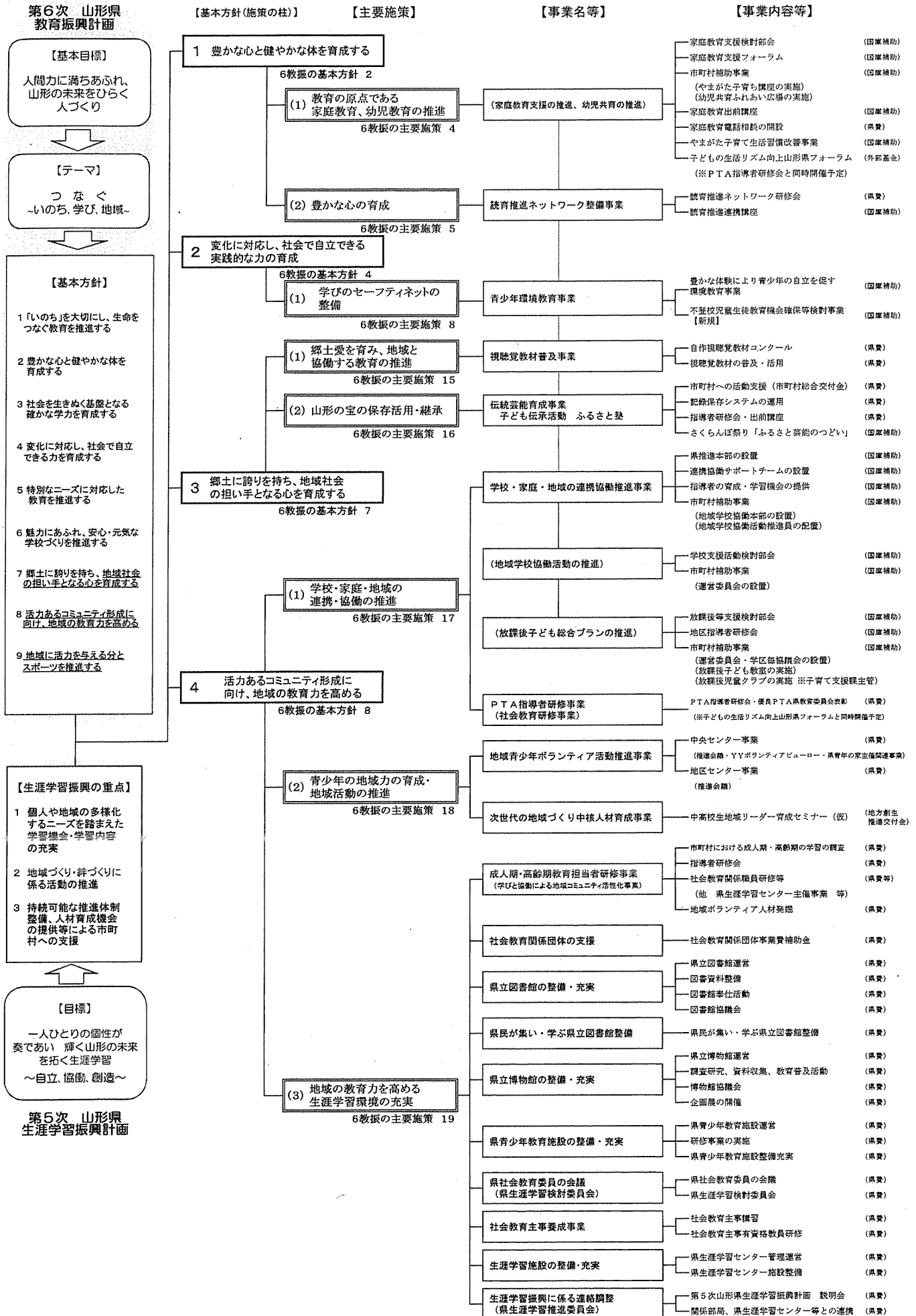
3 郷土に誇りを持ち、地域社会の担い手となる心を育成する【基本方針Ⅶ】

- ・本県の自然や歴史、偉人・先人の業績、伝統文化・文化財、経済産業などに触れることができる地域教材や資料を集約し、情報提供する等、一層の活用を促進します。
- ・地域社会全体で郷土の伝統や文化への関心を高め、文化財・伝統文化の総合的な保存活用・継承の取組みを促進します。

4 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める【基本方針Ⅷ】

- ・学校を支援する活動や地域の教育力を高める活動等を一体的・総合的に推進する仕組みを構築します。
- ・活力あるコミュニティ形成に向けて、児童や生徒、青年によるボランティア活動等の地域活動の推進や地域活動に取り組む青年リーダーの育成を推進します。
- ・地域の教育力を高め、地域コミュニティの活性化に向けて、知の拠点としての県立図書館をはじめとする社会教育関連施設の機能を充実するとともに、地域の活動の支えとなる中核的人材の育成ための支援を行います。

Ⅱ 令和2年度 社会教育・生涯学習 施策体系



Ⅲ 令和2年度 県社会教育関係事業 年間計画 (案)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
1	水		神聖フェスティバル(神聖)	不登校児童生徒の自立支援ネットワーク構築検討会議①	東北大社教主事講習(啓育)※続き	東北大社教主事講習(仙台)※続き アドベンチャーキャンプ2020～7(神聖)		1	
2	木			学校支援検討部会	青少年の自立を促す環境教育事業	わんぱく自然塾夏の巻～8(金曜)		2	
3	金	指導課長等会議(県教セ)	憲法記念日	全国公民館連合会第9回定時総会 TATプロジェクト①(県青)				3	
4	土		みどりの日	山形県社会教育委員の会議(189回)	家庭教育支援研修会①(県青) めんごキャンプ(神聖)	チャレンジキャンプ2020～9(朝日) いいでフィールド&アドベンチャー②～9(飯豊)	放課後子ども総合プラン推進協議会	4	
5	日		こどもの日				青年の家族体験講座②(県青)	5	
6	月		休日	朝日わくわく広場②(朝日) ボランティア研修会(神聖)				6	
7	火	社会教育施設長及び教育事務所 社会教育課長会議①		活用セミナー③(飯豊)		東北大社教主事講習閉講式(仙台)		7	
8	水							8	
9	木		指導員スキルアップセミナー(海浜)	東北大社教主事講習県内研修 (県青)				9	
10	金	企画指導主事・社会教育主事等会議①				山の日		10	
11	土				海浜力ヌー塾①(海浜)		教育事務所社会教育主事等会議③ (教育事務所社会教育主事等研修会) (成人期・高齢期教育研修会)	11	
12	日		県立環境少年ボランティア推進員体験①(県青) 海浜プログラムデザイン講座Ⅰ(海浜) 活用セミナー②(飯豊)		海浜力ヌー塾②(海浜) いいでクラブ①(飯豊)		朝日わくわく広場⑥(朝日) わんぱく探検隊～秋～(神聖)	12	
13	月		ガイドセミナー②(神聖)	海浜プログラムデザイン講座Ⅱ(海浜) 夜空を見上げよう②(飯豊) わんぱく探検隊～夏～(神聖)				13	
14	火		会報プログラムデザイン講座Ⅲ(金曜)					14	
15	水	ガイドセミナー①(神聖)	エンジョイ金峯山登山①(金曜)					15	
16	木		ボランティアセミナー(飯豊)	県家庭教育支援検討部会 ガイドセミナー③(神聖)				16	
17	金	県家庭教育アドバイザー要請状交付式 兼 家庭教育支援研修会	春のオープンデー(飯豊)	TATプロジェクト②(県青)			山形県社会教育委員の会議(190回)	17	
18	土				親子でかっぱだれ①(神聖)			18	
19	日						家族でチャレンジ(飯豊)	19	
20	月			ふるさと芸能のつどい 会報プログラムデザイン講座Ⅳ(金曜)	東北大社教主事講習(仙台)～8/7			20	
21	火	利用団体指導者セミナー①(朝日) 会報プログラムデザイン講座Ⅰ(金曜) 活用セミナー①(飯豊)					敬老の日	21	
22	水		(全社連理事會) 体験講座①舞鶴山の歴史(県青) フラネタリウム一般公開(朝日) 親子ふれあいキャンプ～春～(神聖) いいでフィールド&アドベンチャー③(飯豊) わんぱく自然塾夏の巻(金曜)		海の日 朝日わくわく広場⑤(朝日) 親子でかっぱだれ②(神聖)	朝日わくわく広場⑤(朝日) 海浜力ヌー体験デー(海浜) いいでファミリーキャンプ(飯豊)	秋分の日	22	
23	木							23	
24	金		教育事務所社会教育主事会議②		スポーツの日		教育事務所社会教育課長等会議②	24	
25	土		フラネタリウム一般公開(朝日)					25	
26	日	朝日わくわく広場①(朝日) KINGNOWはるフェスタ(金曜) 夜空を見上げよう①(飯豊) 神聖オープンデー(神聖)					地域学校防災力研修会(県青) はじめてのフィッシング(海浜)	26	
27	月			朝日わくわく広場③(朝日)	社会教育主事団社研A～8/24	北海道・東北ブロック生涯学習・ 社会教育主事課長会議(山形)	海浜自然の家指導員養成講座(海浜)	27	
28	火		県社教連理事会①・総会					28	
29	水	昭和の日	ボランティア関係者研修会(県青)	東北大社教主事講習(啓育)～7/4 東北大社教主事講習閉講式(啓育)	TATプロジェクト③(県青)	わんぱく自然塾ちひここの巻(金曜)		29	
30	木				TATプロジェクト④(県青)		わいわいカフェ①(県青)	30	
31	日		利用団体指導者セミナー②(朝日)					31	
		4月～8月(全8回) わくわく スターウォッチング(金曜)				7/18～9/22夏の体験ボラン ティア(県青)	夏休み後～9/7高校生のボラン ティア活動実態調査(県 青)		

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	木				元日			1
2	金							2
3	土	朝日わくわく広場①(朝日) わんぱく自然豊秋の巻(金峰)	文化の日			青少年教育施設長会議③		3
4	日	自然楽校でお祭りだ!(飯)					県立児童少年ボランティア推進協議会②	4
5	月							5
6	火		合同教育懇談会(高P連主催)			朝日わくわく広場①(朝日) わんぱく自然豊冬の巻(金峰) つるいキャンパ～冬～(神室)	朝日わくわく広場①(朝日)	6
7	水		アツアツやさいもパーティー(飯豊)			スノーランドフェスティバル(飯豊)	つるいキャンパ～冬～(神室)	7
8	木		アツアツやさいもパーティー(飯豊)			山形県社会教育委員の会議(191回)		8
9	金		(国社研社会教育主事専門講座)		わんぱく探検隊～冬～(神室)			9
10	土	第72回山形県PTA研修大会(山形) 第10回KAH-INあきフェスタ(海浜) ふれあいトレッキング(神室)				青少年教育施設研修担当者会議③		10
11	日		全国社会教育研究大会(長岡) 青少年教育施設協議会(山形)		成人の日	建国記念の日		11
12	月		(全国社会教育主事の会研究交流) 朝日わくわく広場②(朝日) KINBOWクラフトフェスタ(金峰)			教育事務所社会教育主事会議④		12
13	火	青少年教育施設長会議②		クリスマスリース作り(朝日) 飯豊文化ふれあいキャンパ(神室)		いいでワイルド&アドベンチャー(飯豊)		13
14	水	わいわいカフェ②(県青)	やまがた教育の日 子どもの生活リズム向上山形県フォーラム兼県PTA指導者研修会 大人の研修会(神室)					14
15	木							15
16	金	山形県社会教育研究大会(山形)			朝日わくわく広場③(朝日) いいでクラブ④(飯豊)			16
17	土	いいでワイルド&アドベンチャー(飯豊)	不登校児童生徒の自立支援ネットワーク構築検討会議②					17
18	日							18
19	月			いいでクラブ③(飯豊)				19
20	火	青少年教育施設研修・研修担当者会議				スノーランドファイナル(飯豊) 県庁研修施設コンクール表彰式・発表会	誓分の日	20
21	水		ふるさと探究コンテスト フラネタリウム一般公開(朝日) いいでクラブ②(飯豊) フラネタリウム一般公開(朝日)		県社教連理事会② 社会教育主事研究会A1～2/1②	スノーランドファイナル(飯豊)	いいでプレキャンパ(飯豊)	21
22	木				県自作研修資料コンクール審査会			22
23	金		勤労感謝の日		青年の家体験講座③(県青) KINBOW5ゆフェスタ(金峰)	天皇誕生日		23
24	土	朝日わくわく広場②(朝日) エンジョイ会楽山登山②(金峰)						24
25	日							25
26	月							26
27	火	TATプロジェクト④(県青)				家庭教育支援研修会③(県青)		27
28	水	不登校児童生徒の自立支援ネットワーク研修会	家庭教育支援研修会②(県青)			神室ウィンターフェスティバル(神室)		28
29	木	東北地区社会教育研究大会(全国・東北公民館研究委員会(秋田市))			教育事務所社会教育課長等会議③			29
30	金				YYボランティアの集い(県青)			30
31	土							31
		R3東北地区社会教育研究大会(新庄市10/14・15) R3全国社会教育研究大会(石川県小松市10/27～29)						

IV 令和2年度 社会教育・生涯学習関係 事業計画

1 豊かな心と健やかな体を育成する

(1) 教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進

家庭教育は教育の原点であり、すべての教育の出発点である。しかし、家庭を取り巻く環境の変化に伴い、子育てに不安や悩みを持つ親が増え、家庭の教育力の低下が指摘されている。こうした今日的な家庭教育の課題に対応し、子どもたちが「いのち」輝く人間として健やかに成長していけるよう、社会全体で家庭教育を支えていくことが必要である。

また本県では、人格形成の基礎を培う上で極めて重要な幼児期の子どもたちに、「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して共に育む『幼児共育』を提唱し、「山形県幼児共育アクションプログラム」を策定し、これに基づく施策を展開している。地域社会全体で、幼児期の家庭教育の充実を図るために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を踏まえ、人やモノ、自然とのかかわりを大切にした親子の体験活動を推進する『幼児共育』の理念や取組みを広く県民運動として定着させていく必要がある。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
学校・家庭・地域の連携協働推進事業 (家庭教育支援の推進) ◇H11年度開始 H16年度組替 H22年度事業統合 H28年度事業統合	●目的 家庭の教育力及び地域の教育機能向上のために、親を対象に家庭教育に関する学習機会を提供するとともに、家庭教育支援者の資質向上のための研修会を実施するなど、家庭教育支援の充実を図る。 ●内容 1 家庭教育支援検討部会の設置 ・検討委員(11名程度) ・年間1回開催 6月16日(火) ・県家庭教育アドバイザーの委嘱・研修 4月17日(金) 2 家庭教育支援フォーラム(県内4地区) ・家庭教育支援者の資質向上を図る研修等 3 やまがた子育て講座【市町村補助事業】 ・小学校等:31市町村204箇所予定 ・家庭教育に関する講話や座談会等 4 家庭教育出前講座(県内8箇所) ・家庭教育に関する講演や情報提供等 5 家庭教育電話相談の開設 ・「ふれあいほっとライン」継続実施 6 やまがた子育て生活習慣改善事業 ・家庭教育に関する保護者向けの啓発 ・保護者向け学習資料の活用、一部改訂 ・県家庭教育アドバイザーの資質向上を図る研修 7 子どもの生活リズム向上山形県フォーラム (県PTA指導者研修会と同時開催・やまがた教育の日) 11月14日(土)・会場:遊学館(予定) ※「令和2年度地域ぐるみで『体験の風をおこそう』運動推進事業」を活用する予定。	文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所 市町村 教育事務所 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室

<p>学校・家庭・地域の連携協働推進事業</p> <p>(幼児共育の推進)</p> <p>◇H17年度開始 H22年度事業統合 H28年度事業統合</p>	<p>●目的 「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して、幼児期の子どもを育む『幼児共育』の実践的な活動を推進する。</p> <p>●内容</p> <p>1 幼児共育ふれあい広場【市町村補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所：30市町村 163箇所予定 ・人やモノ、自然とのかかわりを通して親子のふれあいを大切にした様々な体験活動 等 	<p>市町村</p>
---	---	------------

(2) 豊かな心の育成

本県では、「山形県子ども読書活動推進計画（第3次）」に基づき、学校・家庭・地域などが連携し、社会全体で子どもの読書活動に取り組む『読育（どくいく）』を推進している。さらに、子どもが生涯にわたる読書習慣を身につけるためには、親自身が日頃から家庭での読書を心がけるとともに、乳幼児期からの読み聞かせの必要性や効果的な取組み、発達段階に応じた読書の在り方などについて理解を深めることが必要である。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>読育推進ネットワーク整備事業</p> <p>◇H26年度開始</p>	<p>●目的 子どもの健全な心身の発達を促し、本好きな子どもを育むために、乳幼児期からの絵本の読み聞かせの普及・啓発を図り、家庭における「読育（どくいく）」を推進する。</p> <p>●内容</p> <p>1 読育推進ネットワーク研修会（県内4地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診等における絵本の読み聞かせの普及・啓発 ・乳幼児の親子が絵本に親しむ機会を充実させる取組み <p>2 読育推進連携講座（県内4地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験等と読み聞かせを組み合わせた魅力的な読み聞かせ講座の提供 ・読み聞かせボランティアサークルや市町村との連携による企画、運営 	<p>教育事務所</p> <p>教育事務所</p>

2 変化に対応し、社会で自立できる力を育成する

(1) グローバル化等に対応する実践的な力の育成

近年、コミュニケーション力の向上や自立した生活を送ることに支援が必要な青少年の増加という新たな課題が生じている。このような青少年を対象とした体験活動の充実により、社会参加への意欲を育み他者とかわる力の向上を図る。併せて不登校児童生徒の多様な学びの場を保証するため、民間支援団体と連携した教育的支援の在り方を検討し、施策へと生かしていく。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>青少年環境教育事業</p>	<p>●目的 継続的な就労・就学に向けて支援を必要とする青少年を対象とした、海洋ごみ回収ボランティアや仲間との自然体験活動を通して、支援を必要とするコミュニケーション能力や自尊感情の向上を図り、自立した生活を送るための土台を築く。</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>

<p>(豊かな体験による青少年の自立を促す環境教育事業・県内若者相談支援拠点職員のための体験活動研修事業)</p> <p>◇H27 年度開始</p>	<p>県内各施設の支援者を対象として青少年教育施設を活用した体験活動と支援実践の研修を通して支援力の向上を図るとともに、ネットワークを築く。</p> <p>●内 容</p> <p>1 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋ごみ回収活動を通じた環境教育の実施 ・コミュニケーション能力や自尊感情の向上を促す野外炊飯・自然体験活動 ・複数の若者相談支援拠点施設職員の実行委員組織による計画・立案・実施 ・相談支援拠点施設職員の情報交換及び事例研修会 <p>2 期日・場所</p> <p>(1) 令和2年7月2日(木)～7月3日(金) 1泊2日(予定) 遊佐町：金峰少年自然の家分館海浜自然の家</p> <p>(2) 対象 若者相談支援拠点施設等に通う中学生・高校生、20代～30代の青年及びその指導者、教育支援センターや通信制高校に通う生徒</p> <p>(3) 主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 社会体験 <ul style="list-style-type: none"> ・海洋ごみ回収ボランティア体験 ・海洋ごみ問題学習 ② 野外生活体験 <ul style="list-style-type: none"> ・野外炊飯 ・カヌー体験 ・鳥海山ジオパークの散策等 	
<p>(不登校児童生徒教育機会確保等検討事業)</p> <p>◇R2 年度新規</p> <p>(国補助、県費)</p>	<p>●目 的 不登校児童生徒を支援するフリースクール等の民間支援団体の実態を把握するとともに、不登校児童生徒の将来の自立に向けた教育的支援の在り方を検討し、施策へ生かす。</p> <p>●内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 不登校児童生徒が通うフリースクールなど民間支援団体と在籍する学校との連携状況調査 2 不登校児童生徒の自立支援ネットワーク構築検討会議 6月1日(月)、11月17日(火)【県庁】 3 不登校児童生徒の自立支援ネットワーク研修会 10月28日(水)【県総合運動公園大会議室(予定)】 	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 義務教育課</p>

3 郷土に誇りを持ち、地域とつながる心を育成する

(1) 郷土愛を育む教育の推進

本県には、緑あふれる豊かな自然、特色のある歴史、草木塔などに象徴される生きとし生けるものを畏れ敬うという感性を大切にしてきた風土、世界で活躍した偉人や地域の発展に尽くした先人など、誇るべき「資源」が数多く存在している。グローバル化が進展する中、県民一人ひとりが自らの「心の拠りどころ」を持って生きることができるよう、郷土の自然や歴史、伝統文化、先人の業績などに対する理解を深めることは、郷土に誇りを持ち、山形の未来をひらく人づくりを進めるうえで極めて重要である。

県内各地で自然や歴史、伝統文化、食などの地域資源を活かした地域活性化の取り組みが進められている中、郷土の魅力が子どもたちに十分には認識されていないという指摘がある。このため各学校段階において利用できる自作の視聴覚教材の制作を奨励し、郷土の自然・歴史・文化等に関する教育活動を推進することにより、郷土を愛し、地域とつながる心を持つ人材を育成していくことが必要である。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
視聴覚教材普及事業 ◇H21年度開始	●目的 自作の視聴覚教材制作を奨励し、郷土の自然・歴史・文化等に関する教材提供を可能にすることにより、郷土に誇りを持ち地域とつながる心を持つ人材を育成する。 ●内容 1 第69回 県自作視聴覚教材コンクール 学校教育部門・社会教育部門・児童生徒作品部門 映像作品, デジタルコンテンツ, 紙芝居 等 ・審査会1月22日(金) ・表彰式2月20日(土) 2 優秀教材複製及びふるさと塾アーカイブスへの掲載	文化財・生涯学習課 生涯学習振興室

(2) 山形の宝の保存活用・継承

地域に残る伝統文化や民俗芸能は、長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた県民の財産であり、地域の地理的環境や人々の生活の知恵、先人の願いなどを物語っている。これらの貴重な地域資源を山形の宝として、『知る』『守る』『活かす』ことを基本に、未来へ確実に継承する取組みは、歴史的・文化的価値の継承のみならず、郷土に対する誇りと愛着を育み、地域コミュニティの活性化や新たな交流の拡大にもつながっていく。

本県では、地域の祭りや行事などへの小・中学生の参加率が比較的高く、地域とのつながりの強さが表れているが、一方で、過疎化・少子高齢化の影響で小・中学校の統廃合が進んだこともあり、大人も子どもも地域の伝統文化や民俗芸能に触れる機会が少なくなり、活動が困難になっている団体も見られるようになっている。地域の伝統文化や民俗芸能を守っていくため、活動団体の活性化や指導者と後継者の育成の支援を継続し地域コミュニティの活性化につなげることが重要である。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
伝統芸能育成事業 子ども伝承活動 ふるさと塾 ◇H17年度開始 (文化環境部)、 H19年度より 教育庁に移管 H24年度事業統合	●目的 子どもの郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、親から子、子から孫の代へ「ふるさと山形」のよき生活文化や知恵、伝統芸能などの素晴らしい地域文化を教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進していく。 ●内容 1 市町村への活動支援 市町村総合交付金によって地域文化継承の基盤づくりのために助成し、市町村への支援を図る。(各市町村へ事業費の1/2補助、ただし200千円を上限とする) 2 記録保存システムの運用 公益財団法人山形県生涯学習文化財団との連携により、ふるさと塾アーカイブスのコンテンツの充実を図る。 3 指導者の育成 地域文化の伝承に携わっている方々を対象に研修会及び出前講座を開催し、指導者の資質向上と地域の実情に応じた課題の解決をめざし、団体同士の人的ネットワークの形成を図る。 4 子どもたちの発表機会(ふるさと芸能のつどい) 「日本一さくらんぼ祭り」に合わせて「ふるさと芸能のつどい」を開催し、継承者となる子どもたちの発表の機会を確保するとともに、来場者や観光客に本県に伝承される民俗芸能の魅力に触れてもらう。	市町村 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所 文化財・生涯学習課

	<p>(2)地域ボランティア等人材発掘 地域学校協働活動推進員等（地域コーディネーター）や教育活動推進員等として、主体的に活動できる人材を発掘するため、教職員の退職予定者を対象に、その資質と能力を地域において発揮してもらうための説明会を実施する。 【期日】1月～2月（教職員退職説明会にて） 【場所】計4回（村山・最上・置賜・庄内）</p> <p>4 市町村補助事業の実施【国 1/3 県 1/3】 (1)地域学校協働本部の設置 (2)学校と地域のボランティアをつなぐ地域学校協働活動推進員等（コーディネーター）の配置</p>	市町村
<p>（地域学校協働活動の推進）</p> <p>◇H20～22年度は国委託10/10。現在は、補助事業 ◇H28年度事業統合</p>	<p>●目的 地域住民の積極的なボランティア活動を通じて、学校と地域の一層の連携体制を構築する「地域学校協働活動」を推進し、子どもと住民とのかかわりの中で子どもたちの成長を支え、地域の教育力を高める。</p> <p>●内容 1 学校支援活動検討部会の設置 6月2日（火） 地域と学校の連携や、学校支援ボランティアの活動について協議し、市町村の事業充実のために意見を聴取する。</p> <p>2 市町村補助事業の実施【国 1/3 県 1/3】 (1)運営委員会の設置 市町村全体における事業の企画・立案及び評価・成果の普及、ボランティアの研修など (2)地域学校協働活動推進員等（コーディネーター）の配置 (3)学校支援ボランティアによる学校教育活動の支援 (4)地域未来塾（地域住民による学習支援）の実施</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
<p>（放課後子ども総合プランの推進）</p> <p>(H19～放課後子ども教室推進事業・H27放課後子ども総合プラン推進事業)</p> <p>◇H28年度事業統合</p>	<p>●目的 放課後や学校外活動における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、地域の教育力の向上を図る。</p> <p>●内容 1 放課後等支援検討部会の設置 9月4日（金） 県内全域で子どもの健全育成を図り、市町村における「放課後子ども総合プラン」の取組みの促進のために、十分な意見聴取を行い、関係機関や福祉部局との協力体制を構築する。</p> <p>2 地域学校協働活動推進員養成講座の開催 【再掲】 各市町村が設置するコーディネーターの資質向上や相互の情報交換を図る。</p> <p>3 指導者研修会の開催 (1)放課後子ども総合プラン指導者研修会(4地区毎に年2回以上) 「放課後子ども教室」及び「放課後児童クラブ」における指導者や教員等を対象に実施する。 (2)スミセイ放課後子ども教室指導者研修会（県内1か所1回） 県と住友生命との包括連携協定により、「スミセイアフタースクールプロジェクト」を通じた、放課後子ども教室における子ども向けのプログラムと指導者向けの研修会を実施する。</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 子育て支援課</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>教育事務所</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所</p>

	<p>4 市町村補助事業の実施【国 1/3 県 1/3】</p> <p>(1) 運営委員会・学区毎の協議会（一体型）の設置 市町村の「行動計画」や「放課後子ども総合プラン」等の策定や、各小学校区における「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」事業の充実及び連携の方策等について協議</p> <p>(2) 地域学校協働活動推進員等（コーディネーター）の配置 学校関係者や地域の団体、ボランティア、児童クラブ関係者、保護者等を結ぶ核となる人材の配置</p> <p>(3) 「放課後子ども教室」の実施 すべての子どもを対象に、地域の方々の参画を得ながら地域の実情に応じて実施する学習活動や体験活動の場の確保</p> <p>(4) 「放課後児童クラブ」の実施（※子育て支援課主管） 昼間、保護者が家庭にいない児童の生活の場の確保</p>	市町村
<p>P T A 指導者研修事業 (社会教育研修事業)</p> <p>◇S57 年度開始</p>	<p>●目的 P T A 指導者を対象とした領域的・体系的な研修を実施し、資質向上を図ると共に、地域と学校の連携・協働の体制づくりを推進する。</p> <p>●内 容</p> <p>1 P T A 指導者研修会 期日：11月14日（土） 場所：山形県生涯学習センター遊学館（予定） 対象：小中高・特別支援各学校 P T A 指導者等 250 名 内容：表彰、事例発表、講演 （子どもの生活リズム向上山形県フォーラムと同時開催）</p> <p>2 その他の P T A 関係事業</p> <p>① 優良 P T A 表彰事業 ・ 県教育委員会表彰選考委員会（5月） ・ 優良 P T A 文部科学大臣表彰の推薦（6月）</p> <p>② P T A 研修資料作成 「これからの P T A No.50」の編集及び発行</p>	文化財・生涯学習課 生涯学習振興室

(2) 青少年の地域力の育成・地域活動の促進

本県の青少年ボランティア活動については、各地の青少年ボランティアサークル活動が「山形方式」と呼ばれ地域の方々から親しまれてきた。こうした青少年の主体的なボランティア活動は、参加者自身の社会力向上につながるとともに、子どもたちの地域での活動の充実に資するなど、重要な教育資源である。青少年ボランティアサークル活動の活性化に向けて、ボランティア活動を開始するきっかけとなる体験機会や、ボランティアサークル会員の意欲向上につながる交流機会、ボランティア活動をコーディネートする人材養成のための研修機会の充実が必要である。

青年層の活動については、活動意欲にあふれる 20 歳代を中心とする団体が各地で地域活動を開始するなど、地域活動が活性化する兆しが感じられるが、なかなか活動の輪が広がらず活動の継続が難しいなどの課題が指摘されている。

このため、地域活動に関心を持つ青少年を対象とする学習機会や、次の世代の活動者育成のための事業が必要とされている。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>地域青少年ボランティア活動推進事業 ◇H17 年度開始 H22 年度事業変更</p>	<p>●目的 県民に広く情報を提供するとともに、支援体制の整備及び研修・交流の機会を確保することにより、地域青少年ボランティア活動を推進し、様々な世代の人との交流の中で青少年の「地域とつながる」力の向上を目指す。</p>	

施設として、適切かつ効率的な管理運営を行い、その機能を維持するために必要な施設整備を行うとともに、公益財団法人山形県生涯学習文化財団との連携により、県民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、地域の活性化を担う人材の育成及び県民の文化の振興を図る。

県及び市町村教育委員会における社会教育の推進を図ため、社会教育の専門的職員である社会教育士を計画的に養成するとともに、社会教育主事有資格教員を地域や学校、家庭の連携・協働を推進する体制づくりの核と位置付け、地域の教育力向上を図る。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>成人期・高齢期教育 担当者研修事業</p> <p>(学びと協働に よる地域コミュニ ティ活性化事業)</p> <p>(助成) 県社会教育連絡協議会</p>	<p>●目的 成人期・高齢期における社会教育の現状を調査し、豊かで活力ある地域社会を形成するため、よりよい生涯学習の機会と場を提供できるよう検討していく。</p> <p>●内容</p> <p>1 成人期・高齢期の学習の調査 市町村が開催している、成人・高齢者を対象とした講座等の開催場所や内容等を調査する。</p> <p>2 指導者研修会の開催 成人期・高齢期における学習活動の今後の在り方について学ぶための研修会を開催する。(成人期・高齢期教育研修会) ・期日 9月6日(金) ・場所 県庁講堂(予定)</p> <p>3 社会教育関係職員研修等 (1) 社会教育関係職員初任者講座 ・①内容:講義、ワークショップ、職種別分科会をとおして、社会教育を推進するために必要な基礎・基本を学ぶ。 ②期日・場所 【1回目】未定 【2回目】未定 ③対象:市町村社会教育関係職員、公民館関係職員、コミュニティセンター職員等のうち、経験年数が2年未満の者 (2) 社会教育関係職員地域づくり研修会 ①内容:個人の要望や社会の要請にこたえる社会教育事業の企画力を高める研修会を開催する。 ②期日・場所 未定 ③対象:社会教育関係職員、NPO、地域づくり団体等</p> <p>4 市町村研修等支援事業<出前講座> ①期日・場所:各市町村の計画による ②対象:各市町村の社会教育関係職員、公民館関係職員、コミュニティセンター職員等 ③内容:各市町村の計画による</p> <p>5 学校・家庭・地域の連携協働推進事業 地域ボランティア等人材発掘【再掲】</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>県生涯学習文化財団 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>県社会教育連絡協議会 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>

<p>社会教育関係団体の支援 (社会教育関係団体事業費補助金)</p> <p>◇S34 年度開始</p>	<p>●目的 社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図る。</p> <p>●内容 事業費補助金の交付</p> <p>◇補助金名、対象団体</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 山形県社会教育連絡協議会事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・山形県社会教育連絡協議会 2 P T A連合会事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・山形県 P T A連合会 ・山形県高等学校 P T A連合会 ・山形県特別支援学校 P T A連合会 3 婦人団体事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・山形県婦人連盟 4 ボーイスカウト事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・ボーイスカウト山形県連盟 	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
<p>県立図書館の整備・充実</p>	<p>●目的 県民の高度化、多様化する学習ニーズに的確に対応するため、県民の学習活動の基幹施設である県立図書館の基本的機能が発揮できるように、図書館資料の収集・整備・保存に努める。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図書資料整備充実事業 <ul style="list-style-type: none"> ・一般図書、専門雑誌、地域資料 ・視聴覚資料（ビデオテープ、DVD、CD、新聞記事データベース 等の充実） 	<p>県立図書館</p>
<p>県民が集い・学ぶ県立図書館整備</p> <p>◇H27 年度開始</p>	<p>●目的 県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献する知の拠点となるため、開架書架や閲覧席数の増加などの大規模改修を行い、図書館本来の機能の向上を図るとともに、多くの県民が集い・学ぶ図書館を目指す。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大規模改修工事の実施 	<p>文化財・生涯学習課 県立図書館</p>
<p>県立博物館の整備・充実</p>	<p>●目的 文化学術拠点としての博物館機能の強化を図り、地域への愛着や誇りを育むため、魅力ある博物館活動を展開する。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プライム企画展の開催 2 学習会・研修会等の実施 3 解説ボランティアの配置・活動 	<p>県立博物館</p>
<p>県青少年教育施設の整備・充実</p>	<p>●目的 青少年教育施設の安全性を高め、利用者が安全・安心に活動できる充実した学習の場の提供を行う。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 青少年教育施設 6 施設 保健室等への冷房設備設置 2 金峰少年自然の家海浜自然の家 敷地内毒蛾対策 	<p>県青少年教育施設</p>

<p>県社会教育委員の 会議</p> <p>生涯学習検討 委員会</p>	<p>《社会教育委員の会議》</p> <p>●目的 行政と県民のパイプ役・橋渡し役として、教育委員会への意見具申や助言指導などを行い、本県社会教育の充実に資する。</p> <p>《生涯学習検討委員会》</p> <p>●目的 県の生涯学習推進体制の整備に向けて、生涯学習関連部局等が連携し、総合的に施策が展開されるよう設置した「生涯学習推進委員会」とともに、外部有識者が「山形県生涯学習振興計画」の進捗状況を点検し必要な提言を行う。</p> <p>●日程</p> <p>◎第189回山形県社会教育委員の会議 令和2年6月4日(木)</p> <p>◎第190回山形県社会教育委員の会議 令和2年9月17日(木)</p> <p>◎第191回山形県社会教育委員の会議 令和3年2月8日(月) ・令和2年度「生涯学習検討委員会」を兼ねる。</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
<p>社会教育主事養成 事業</p> <p>◇S56年度開始 (有資格教員研修 はH26年度開始)</p>	<p>●目的 東北大学及び国立教育政策研究所社会教育主事講習等への派遣により、社会教育推進体制の充実と、幅広い知識を身につけた教員の養成を図る。 また、学校への社会教育主事有資格者の配置と、社会教育主事有資格教員のスキルアップを図り、学校・家庭・地域の連携を促進する。</p> <p>●内容 《社会教育主事講習》</p> <p>1 対象 (1) 県教育庁社会教育関係職員 (2) 公立小・中学校、県立高校・特別支援学校の教員</p> <p>2 実施内容 社会教育士の資格取得のため、社会教育法第9条の5の規定に基づき東北大学等が実施する社会教育主事講習への派遣</p> <p>3 日程・会場 (1) 東北大学(東北大学及び磐梯青少年交流の家)6月29日～8月7日 ※県内研修(山形県青年の家)6月9日～6月10日 (2) 国社研[A](社会教育実践研究センター他)7月22日～8月23日 (3) 国社研[B](社会教育実践研究センター他)1月20日～2月26日</p> <p>《社会教育主事有資格教員研修》</p> <p>1 対象：公立小中学校の社会教育主事有資格教員</p> <p>2 実施内容 (1) 目的：最新の社会教育事情や学社連携のあり方を学ぶ。 (2) 内容：講演、パネルディスカッション、グループ討議等</p> <p>3 日程・会場：教育事務所毎に実施</p>	<p>文部科学省 (東北大学) 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>教育事務所</p>

<p>生涯学習施設の 整備・充実</p> <p>◇H2 年度開始</p>	<p>●目的 生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センター（遊学館、霞城セントラル10階）、センター分館（山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」）の効果的かつ効率的な管理運営と、機能維持及び安全確保のため、設備等の更新及び修繕を行う。</p> <p>●内容 1 県生涯学習センター管理運営費 ・施設の維持管理及び使用許可等業務に係る指定管理料 （指定管理者制度導入 H18 年度～） 指定管理者：公益財団法人山形県生涯学習文化財団 指定の期間：令和 2 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日</p>	<p>文化財・生涯学習課</p>
<p>生涯学習振興に係る連絡調整 （生涯学習推進委員会）</p> <p>◇H25 年度開始</p>	<p>《生涯学習推進委員会》</p> <p>●目的 県の生涯学習推進体制を整備し、生涯学習に関する施策の総合的な企画及び調整を行い、その推進を図る。</p> <p>●内容 生涯学習推進委員会を設置し、関係部局や山形県生涯学習センターが連携し、総合的に施策が展開されるよう努める。</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>